

# 大雪山国立公園 協働型維持管理に関する アンケート報告

平成24年12月4日(火)  
環境省北海道地方環境事務所  
上川自然保護官事務所  
東川自然保護官事務所  
上士幌自然保護官事務所

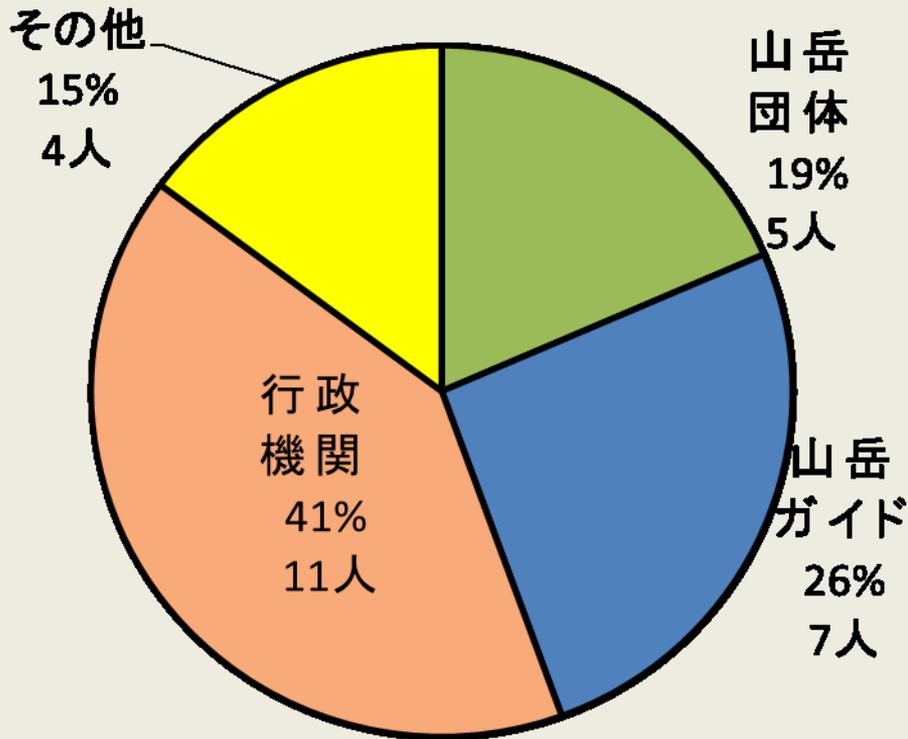
配布先： 行政機関、山岳関係者等計52団体

回答数： 山岳団体・・・5名  
山岳ガイド・・・7名  
行政機関・・・11名  
その他・・・4名  
合計・・・27名

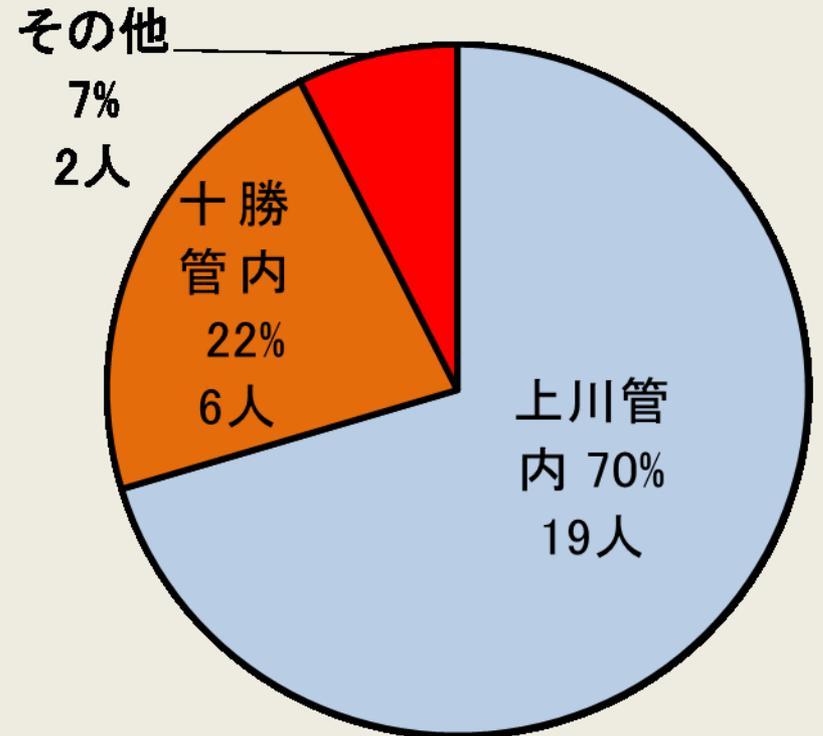
回答率： 51.9%

# 質問①あなたの属性は？（所属・居住地）

所属

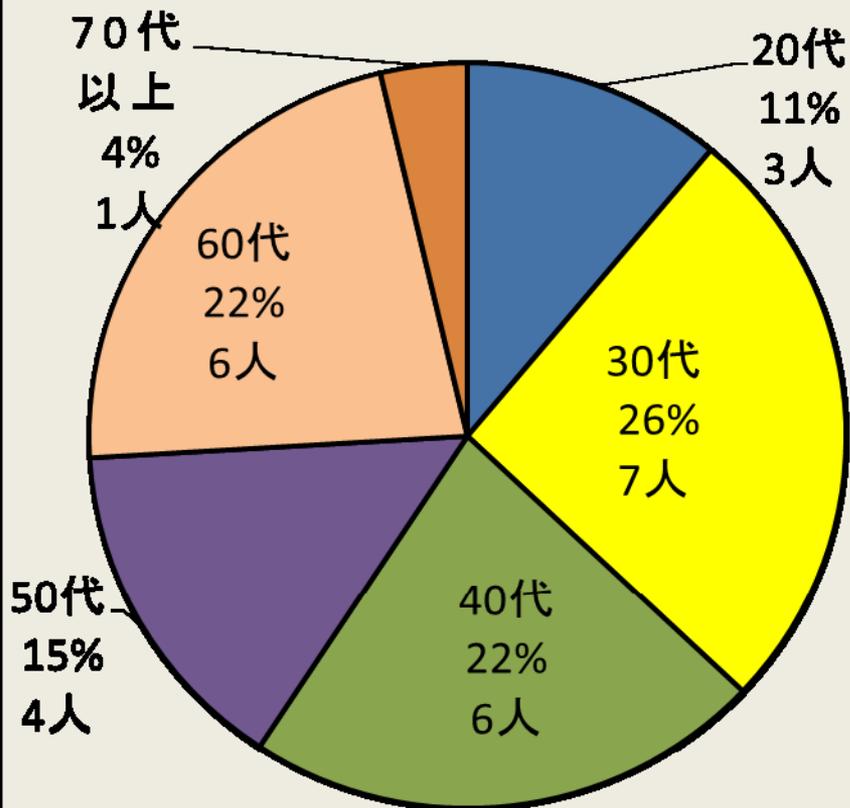


居住地

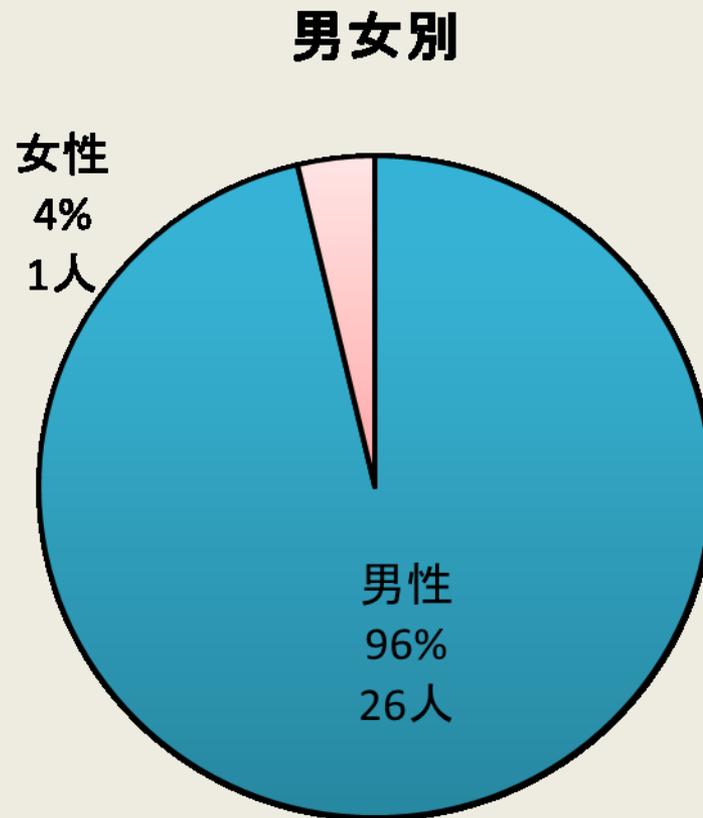


# 質問①あなたの属性は？（年齢、性別）

## 年齢

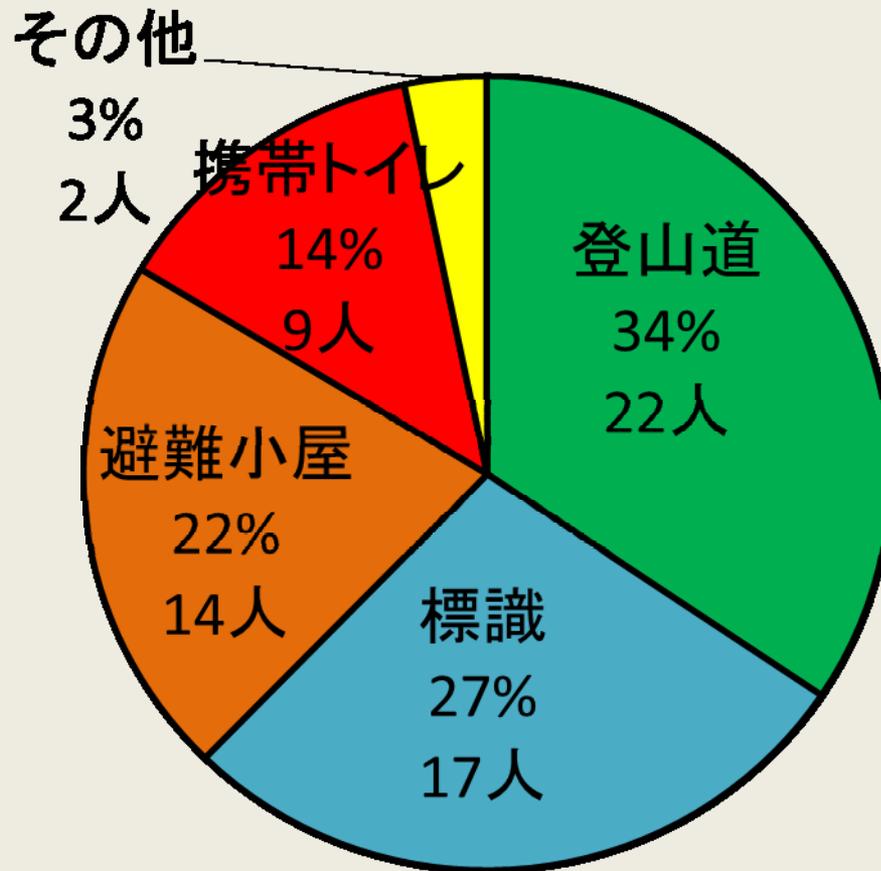


## 男女別



## 質問②

山岳関係者が協働で取り組む対象として  
どのような施設が適当と思いますか？



### 「その他」意見

- ・情報共有や対処(20代行政機関男性)
- ・トイレ(40代山岳ガイド)

## 質問③

具体的にどのような関与が  
考えられますか？

	26件の回答の主な意見
登山道の維持保全 9件	登山道の簡易な補修
	登山道の補修作業への参加、メンテナンス、補修資材の搬送
	一般登山者にも修復に参加できる仕組みを作る
	将来的に必要な補修などの計画
標識の維持管理、保全 5件	標識のペンキ塗り
	英語表記プレートやラミネート
	遭難防止の為の標識設置
	標識設置の手伝い(要、不要も含めどこにどの標識があるとより効果的か色々な視点の人で協議したらよいのでは？)
避難小屋の管理 4件	避難小屋のゴミ下ろし
	トイレの掃除やメンテナンス
	避難小屋の清掃、簡易な施設維持管理作業、補修
情報共有 4件	公的機関への協力と情報共有
	定期的なパトロール及び情報の共有化
	登山道の異常箇所の情報共有
	登山道、避難小屋の異常箇所の情報共有、携帯トイレの普及啓発。

その他4件

## 質問④

そのうち、あなたが協働で取り組んで  
頂ける事は何ですか？

	34件の回答の主な意見
直接的な 関与 20件	作業への参加
	標識や印の設置
	スケジュールが合えば整備、呼びかけ、何でも
	GSSによる歩道の簡易な補修
	登山道の整備、整備方法の指導
	年数回のパトロール
間接的な 関与 12件	作業中の視察の呼びかけ
	ツアーへの組み込み
	作業への呼びかけ、コーディネート
	情報提供
	費用負担
	直接的な関与は難しいが出来るだけ協力していきたい

その他2件

## 質問⑤

協働による関与を推進するには  
何が必要だと思いますか？

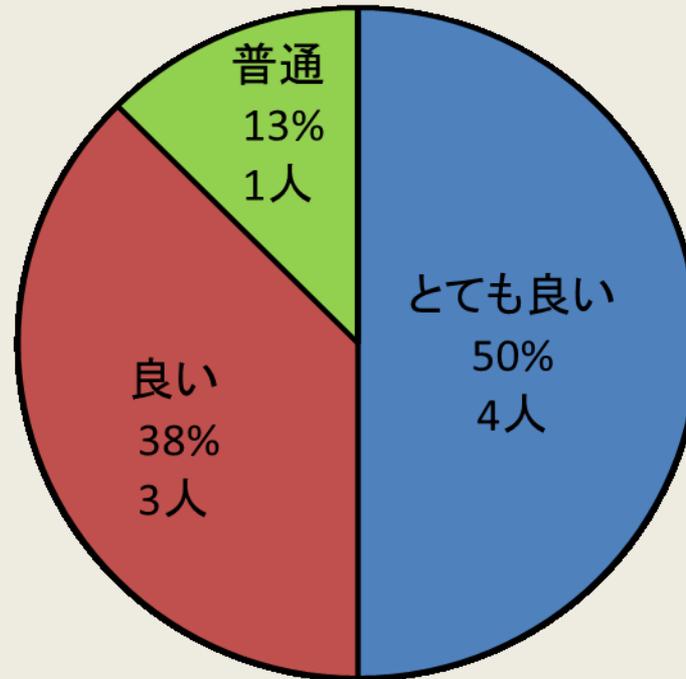
	26件の回答の主な意見
情報共有 14件	情報の共有化にかかる連絡体制の確立
	山岳会員と機関の連携を密にすること
	山岳関係者の活動内容や日程の情報を共有し、各関係者型の活動にも参加しやすいようにする。一緒に活動することで横のつながりが出来る。
	情報の共有化、責任のある作業
役割分担 4件	明確な役割分担
	山岳エリアにより状況が違うので、小さなグループ分け。大雪山国立公園全体としての考え方、大枠を決め、協働の具体策はグループごとに行動して詰めていく。その後、各グループの活動報告の共有等。
将来的な 目標 4件	指導者の育成、一般登山者の参加
	技術者の指導と適切な予算
	若年者が参加しやすいような新団体の設立、参加者の免税処置。
	とにかく継続する事
予算的な事 2件	資金
	やる気のある人たちへの援助

その他2件

質問⑥、⑦

登山道保全技術講習会について

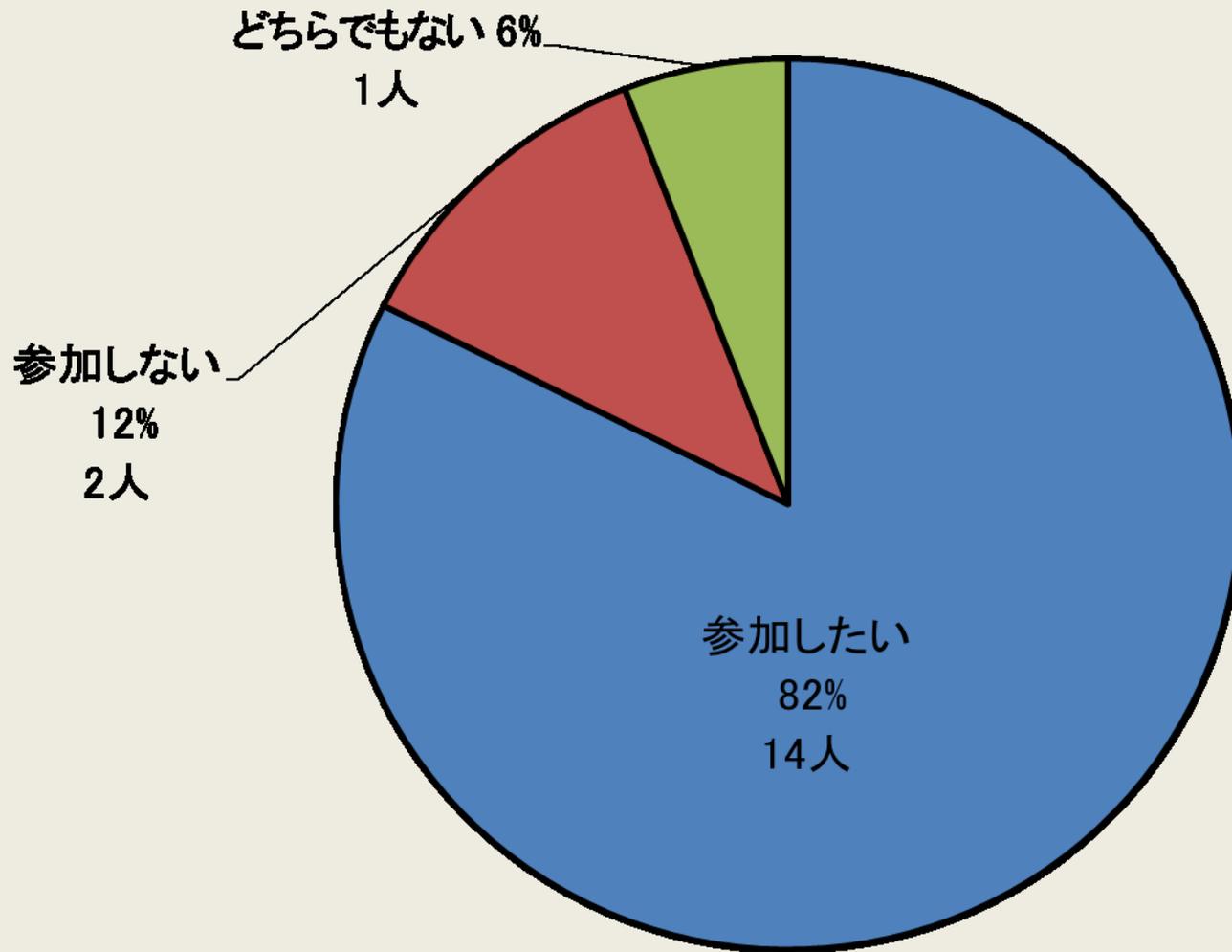
# 内容について



## 理由

- ・具体的であった、実施作業も行って欲しかった(50代山岳ガイド)※「とても良い」
- ・実際の現場での講習は大変役に立つ、岡崎氏の指導もわかりやすい※「とても良い」
- ・回数が少なく、参加人数が多い。(50代山岳ガイド男性)※「普通」
- ・専門家による具体的な指導(60代山岳団体)※「とても良い」
- ・現場に即した対応を理解することが出来る(60代山岳団体)※「とても良い」

# 講習会に今後も参加しますか？



質問⑧

登山道の維持管理で重要と  
思う事は何ですか？

	24件の回答の主な意見
計画性 7件	その場所の自然環境・景観を損ねないような修繕と長期的な計画での維持管理。
	近自然工法と言っているが、そうでない場合有。環境に合わせた近自然工法の理解が必要。
	整備水準を守る事
情報共有 4件	整備技術、知識だけでなく問題意識の共有
	組織の肩書のない友好関係
	継続と「あるべき姿」(ぶれないこと)の共有
予算的な事 4件	技術と資金
	広域での調査と優先順位。確かな技術者の指導と適切な予算(量と配分)
情報提供 2件	利用者に対する適切なレクチャー
	登山道の維持管理に多大な費用と人手が要していることを知ってもらう
手軽さ 2件	気軽に参加出来る事
	誰でも作業が出来る事

その他5件

## 質問⑨

大雪山国立公園パークボランティア

(事務局:環境省)について

- あくまでボランティアなので危険な事はお願い出来ない、荷上げ協力、情報提供協力を担って欲しい。  
(50代山岳ガイド)
- 活動日の共有だけでなく、協働を進めてはいかがでしょうか？(30代その他団体)
- 大雪山国立公園全域を守備範囲として精力的に活動されており、敬意を表します(60代山岳団体)
- まだまだ一般利用者の認知度が低い。蓄積されているノウハウを公開する機会を持って欲しい。  
(60代山岳団体)

質問⑩

その他意見などがあれば  
ご記入ください

- ・情報交換会は関係機関・団体の情報共有の場として次年度以降も継続していただきたい
- ・協働型維持管理の目指す方向が見えてこない気もします。私の所属する団体は高齢化が進み、近い将来地域における協働の一翼を担えなくなる可能性があります(60代山岳団体)
- ・将来的には一元的に管理に取り組む団体が必要(60代山岳団体)
- ・トイレ、小屋の議論を避けてはならない(40代その他)

- ここ数年、優先順位の低いと思われる箇所に未熟な施工で多くの予算が投入されているように思えます。

(40代山岳ガイド)

- 大雪山は広く、問題のある登山道も様々な場所にあります。手を付けるべき場所を調べ、少しずつでも直してもらいたいです。(30代その他)

- 協働型とは聞こえは良いが、要は責任分担ですね(責任分担が悪いわけではない)(40代山岳ガイド)